学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 理科

科目名 ：	生物基礎	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：改訂版 新編 生物基礎 （数研出版）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	６ 枚	２ 枚	２ 枚	２ 枚
スクーリング [S]	１８ 回	７ 回	６ 回	５ 回
テスト [T]	２ 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

スクーリングの際に、内容をまとめたプリント（スクーリングメモ）を配付します。そのプリントや教科書をよく読むと、レポートは完成させることができます。スクーリングに出席できなかった時間のプリントは後日、取りにきてください。
テストは主にレポートから出題します。問題数が多くなる傾向がありますので、レポートを全般的に幅広く勉強しましょう。
受験科目として「生物」を選択する人は、別途問題演習が必要です。
上位科目「生物」の受講を考えている人は、必ずこの生物基礎を受講してください。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象に対する関心を高めます。
また、目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。
さらに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養い、身に付けることを目標とします。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：観察・実験の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検 （レポート）	・記述の点検 （レポート）	・観察 （スクーリング） （スケッチ提出） ・記述の点検 （レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	生物と遺伝子	①生物の多様性と共通性 ②エネルギーと代謝および光合成と呼吸 ③遺伝情報とＤＮＡ ④実験（顕微鏡観察） ⑤遺伝情報の発現 ⑥遺伝情報の分配（細胞分裂と情報の分配） ⑦遺伝情報の分配（分化とゲノム）	○	○	○	○	a:生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡ、生命活動に必要なエネルギーと代謝について興味関心を持つことができる。 b:科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 c:実験などを行い、科学的に探究する技術を身につける。 d:基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート
2範囲	生物の体内環境の維持	①体内環境と体液 ②腎臓と肝臓による調節 ③神経とホルモンによる調節(1) ④神経とホルモンによる調節(2) ⑤免疫(1) ⑥免疫(2)	○	○		○	a:体内環境について、またその維持の仕組みについて興味関心を持つことができる。 b:科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 d:基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・レポート
3範囲	生物の多様性と生態系	①植生とその成り立ち及び植生の移り変わり ②気候とバイオーム ③生態系とその成り立ち ④物質の循環とエネルギーの流れ ⑤生態系のバランスと保全	○	○		○	a:植生およびその遷移、気候とバイオーム、生態系のバランスについて興味関心を持つことができる。 b:科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 d:基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。